

研究名：当院における小児体外設置型補助人工心臓（VAD）の リハビリテーション診療の経験

1．研究の目的

当センターは小児体外設置型補助人工心臓(VAD)診療を実施している施設のひとつです。これまでに当センターでVADを装着し入院を継続した全患者さんへリハビリテーションを実施してきました。先行研究によると、小児VAD装着患者さんでは、発達促進を目的としたリハビリテーション治療の必要性が指摘されています(天尾ら、2021)。当センターでの関わりの中でも長期化する入院生活や限定された環境により、発達遅滞のみではなく様々な生活上の問題が出現することがあり、リハビリテーション治療や、多職種連携が重要であることを感じています。今回、これまでのリハビリテーション経過をまとめ、今後のVAD装着患者さんへのリハビリテーションの更なる充実を図りたいと考えています。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2016年～2023年までにVADを装着しリハビリテーションを実施した方。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月31日

研究方法：電子カルテより、後方視的に調査を行います。年齢、性別、疾患名、VAD装着年齢、VAD終了年齢、VAD装着期間、転帰、リハビリテーション開始日について、平均値や中央値を求め、当院のVADリハビリテーション診療の傾向を明らかにします。リハビリテーション内容、カンファレンス内容、退院後リハビリテーションの有無は質的に分析し、当院のVADリハビリテーション診療の傾向を明らかにするとともに、今後の課題や対策を検討します。

3．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、疾患名、現病歴、治療内容、VAD装着年齢、VAD終了年齢、VAD装着期間、**転帰機**、リハビリテーション開始日、リハビリテーション内容、カンファレンス内容、退院後リハビリテーションの有無 等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4 . 情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定です。

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年8月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター リハビリテーション科 柳澤いずみ

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7324）

研究責任者：

国立成育医療研究センター リハビリテーション科 柳澤いずみ